

フィリピン就学支援募集開始！

制服もなければ希望もない

あなたはフィリピンの子どもたちに未来を与えてくださっています。

教育を受けられなければ、フィリピンのゴミ捨て場やスラム街で育った子どもたちは、極貧の連鎖から逃れる望みはありません。フィリピンのマニラでは、日常的にタガログ語を話しますが、小学校3年生からは英語で授業が行われます。学校に行かなければ英語を学ぶことができないため、良い仕事に就くことはできません。

しかし、制服を準備できなければ、学校に通うことは許されません。その費用は、メトロの関わる地域に住むほとんどの家庭にとってはとても手の届かない金額です。子どもが多いフィリピンでは、先生の人数も教室の数も足りないため、地域によっては午前のクラスと午後のクラスの2つに分けて授業を行っています。

それで、中には必死の思いで、1着の制服を手に入れる親もいます。そうすれば1着の制服を兄弟で着回して登校することができるからです。上の子が学校から帰ると、すぐに年下の子どもがその同じ制服を着て午後からのクラスに出ることができます。

スラム街での一般的な食事は、ご飯に水と少しの醤油をかけたものです。しかしここ数カ月、彼らの主食である米の価格が高騰しています。

親たちは、食事の量を減らして切り抜けるしかなく、今までよりさらに多くの子どもたちが空腹な状態で毎日を過ごす状況になっています。

ありがたいことに、素晴らしいスポンサーの皆様のご支援により、これらの子どもたちの多くが、特別な食糧支援や、将来に希望を与える学校の制服まで受け取ることができています。

学用品と就学支援は、スマホやPCからお申込みいただけます。また、同封の申込用紙をご利用いただくこともできます。

スマホでのお申込はこちらから⇒
PCからは、<https://metroworldchild.jp/ph-bac/>



そして、経済状況の悪化により、今フィリピンでも、さらに多くの子どもたちが、緊急にスポンサーのご支援を必要としています。新規のスポンサーも常に募集していますので、お知り合いの方々にご案内ください。

フィリピンの現地視察ツアーのご案内は次ページをご覧ください。

締切

4月25日(木)



常時スポンサー募集中！

お申し込みはこちらから⇒
<https://metroworldchild.jp/apply-for-sponsor/>



今月の引き落とし日！

3月27日(水)です。口座をご確認ください！

今月号の目次

P2～4…フィリピンツアーのご案内/
ビル師の近況

P4…イエスを知らないことの危機

P5…ビル師よりスポンサーの皆様へ

P6…日本事務所からの重要なお知らせ

フィリピンツアー開催！

昨年春、コロナ禍明けでようやく現地ツアーを開催することができました。今年も皆様からのお問合せもあり、4月にフィリピンツアーを再開することにいたしました。サポートしていただいている子どもたちに会うチャンスですし、現地の現状を知る貴重な機会です。第一次募集は締め切りしましたが、すぐにお申込みいただければ、第二次募集に間に合います。日程や予算は以下の通りです。参加人数などにより多少の変動があります。参加ご希望の方は、まずご一報ください。

メトロ・フィリピン視察ツアーのご案内

4月4日(木)～7日(日)開催！ 第二次募集は、一次より価格が高くなる可能性があります

第一次募集〆切2月29日(木)

第二次募集〆切3月15日(金)

他の国より、日程的にも金額的にも大変参加しやすと思いますので、ぜひご検討ください。参加のご意向のある場合は、以下の内容をお知らせください。お申込用紙をお送りします。

皆様の利便性を考えると、出発地は関東方面になると思います。国内便の接続によっては、7日中にご自宅に戻ることができない場合もありますので、ご了承ください。航空便予約後のキャンセルはキャンセル料が発生します。

お申込はこちら→

または、下記アドレスから
<https://x.gd/aT5MB>

お電話、メール、FAXでもお申込みいただけます



ツアー日程

4月4日(木)	日本出発(関東方面、時刻未定)
〃	マニラ着(現地時間、時刻未定)
4月5日(金)	メトロ・スタッフ・ミーティング参加
〃	子ども訪問または現地活動に同行
4月6日(土)	道端教会学校参加
4月7日(日)午前	礼拝参加
〃 午後	マニラ出発(現地時間、時刻未定)
〃 夜	日本着・解散(関東方面、時刻未定)

空き時間には、ご意向に合わせて観光や自由時間を入れる予定です。

- * ツアー代金は、18万円前後、参加人数によって変動します。
- * お住まいの地域から出発空港までの国内移動につきましては別途手配が必要となります。
- * 現地の気温は35度くらいで、屋外の活動が中心になります。
- * ご支援いただいている子どもさんとお会いできますよう、現地のスタッフが調整いたします。

ビル師の近況報告

ビル師が心臓発作で倒れました

ビル牧師は2月初めにニューヨークの路上で心臓発作を起こしました。

しかし、多くの方が、メトロやビル師の Facebook の投稿によって、これまでの出来事をご存知のことでしょう。彼が、このところどのような毎日を過ごしていたかを知っていれば、おそらく大して驚かないと思いますが、4回目のウクライナ訪問中のロシア人によるドローン攻撃、ガザでのこと、そしてもちろんメアリーの死…。

ニューヨークで毎日彼と共に、周りで働いている私たちには、このままでは大変なことになることは分かっていました。大きな代償を払うことになることは皆気づいていましたが、つい2月6日の火曜日にそれを払うことになりました。

救急車が救急救命室に到着すると、大変な作業が始まりました。ビル牧師が担架から降ろされるとすぐに、彼らは処置を始めました。ストレッチャーに乗せられてカテーテル検査室に運ばれ、そこで専門の心臓外科医が血管造影検査をするよう命じました。左冠動脈下枝の一部が完全に詰まっていた。ビル牧師はそれを知っていました。次の月曜日の午前8時に、再び手術が行われることになりました。ビル牧師を担当したこの主任外科医が大変親切で丁寧に対応してくれたので、スタッフ一同感謝しました。



ビル師の近況報告



ビル牧師の医療記録を読み始めた時、医師は、一瞬読むのをためらいました。なぜなら、ビル牧師の医療記録は、彼が書いた本よりも分厚かったからです。しかし、それはまた別の機会にお話しします。その医師はすぐに、ビル牧師が自分がこれまで治療してきた患者の中で最も手ごわ

い患者の一人であり、これまでの人生の歩みを通して、常に困難な状況を打破するために活動し、そして今もなお生きてこの物語を伝え続けているのだと理解しました。私たちは、スタッフとして、それを毎日目の当たりにしてきました。

土曜日の朝、その外科医が再びビル牧師に会いに来た時、これが通常の患者に対する対応ではなかったため、そのフロアにいた他の医師や看護師は驚いていました。彼のような優秀な外科医は、特に土曜日には患者を診ないからです。しかし彼は、ビル牧師が実際にどのような人物で、なぜ彼の人生がこうなったのかを知る機会をもつ必要があると感じたのです。

彼は、心臓が本当にダメージを受ける症例があることを教えてくれました。彼は私たちに、ブロークン・ハート・シンドロームという病名をグーグルで検索してみるように言いました。ビル牧師の心臓は、説明するのが非常に難しい状態になっていたのです。皆さんの中には、その理由を理解し、知っている方もいると思います。

しかし、繰り返しになりますが、ビル牧師がいつも言うように、悪魔は、ある方々が人生で経験してきたような痛みや困難な状況、あらゆることがらを私たちに投げつけてくるでしょう。そして、それはすべて私たちを諦めさせるために仕組まれたものだということをご存知でしょう。しかし、皆さんがこれを読んでいる今、ここで思い出してください。「あなたがたのうちにおられる方が、この世のうちにいる、あの者よりも力があるからです（第一ヨハネの手紙4章4節）」。これまでも、これからもそうです。ビル牧師が以前からここにいたというだけでなく、神が信仰によって彼をここまで導いてくださったことを知っています。そして彼の使命感は依然として感情に勝るのです。皆さんもそれをご存知です。いつものように彼のために祈り続けてください。

月曜日の朝が来ます、そして火曜日の朝もまた同じように…イエスの御名において。

手術は成功しました

ビル牧師は手術を終え、手術は成功しました。外科医が言った通り、彼はこれまで担当した患者の中で最も難しい状態

の患者でした。

ビル牧師にとって昨年が非常に大変な年であったことは誰もが知っています。2度の戦争を経験し、今度は2度の手術を受けました。あなたの祈りは、彼にとって本当に大きな意味がありました。感謝します。

手術から回復した後、彼は私たちに海軍特殊部隊のモットー「楽できたのは昨日だけ」を思い出させてくれましたが、さらなる奇跡は明日も続きます。

ビル師より

定義できないものをどう言い表しますか？ 私は人生を通してそれをやろうと努力してきました。そこで、もう一度、より高い次元で挑戦してみました。奇跡とは実際どのようなものでしょうか？

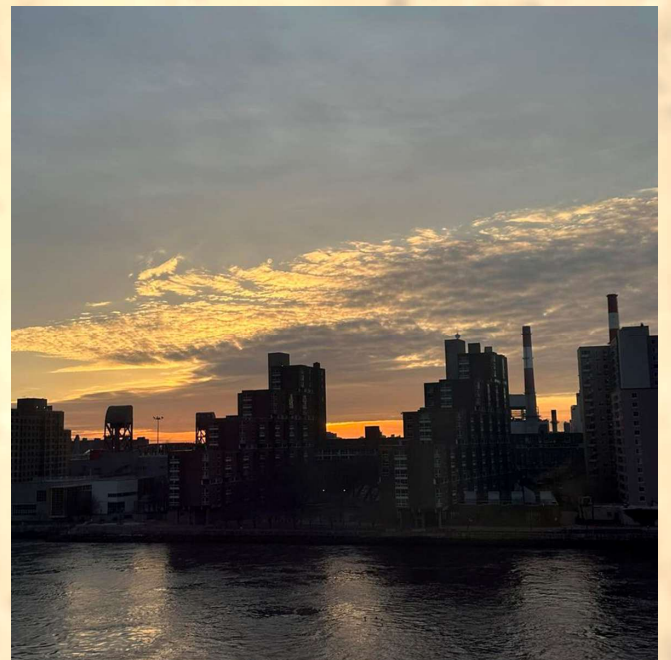
75年を経て、私には奇跡について語る資格がある程度あると思いたいのです。先週、体が大変な状況になってしまった私に、再び奇跡が起こりました。ほとんどの人は私の心臓発作についてお聞きになったでしょう。

それはマンハッタンのダウントウンで受けた定期健康診断から始まりました。診療所を出て、ブルックリンのオフィスに戻る前に簡単な昼食を探していたとき、突然気分が悪くなりました…とてつもなく気分が悪くなりました。瞬時に、これは歩道にひっくり返るぞ、と覚悟しました。

その時一緒にいたスタッフが、私の様子がとてもおかしいことに気づき救急に連絡しました。こんな時、時間が止まっているように感じられるのは不思議です。救急車に乗っているとサイレンが聞こえ、何かが変わると気づきました。

救急車が救急救命室に入った瞬間、私は医師と看護師に囲われました。これまで何度も経験しているのに、彼らの表情が何を意味するのかすぐに分かりました。

幸いなことに、その日私は自分の治療記録を持っていたので



す。そこには私の長年の詳細な診療履歴がすべて記録されています。すぐに私の最新の心電図と検査結果が医師の手に渡され、診断が始まりました。主任心臓外科医が血管造影検査を行うようにと連絡してきました。

彼は、冠動脈下枝の一部が完全に閉塞して石灰化しており、そのために心臓発作を起こしていることを発見しました。救急搬送の時間があと5分でも遅かったら、私の心臓は取り返しのつかないほどのダメージを受けていたでしょう。外科医は、ただ驚いて首を振っていました。奇跡にはさまざまな形や大きさがあるのです。

最初の動脈手術が難しいため、左回旋動脈の曲がり部分にステントを入れるまでに数日待たなければなりませんでした。

ここ数日を振り返ると、一連の出来事がなければこの奇跡は起こらなかったと痛感しています。

私がまさにマンハッタンにいて、通りのすぐ先のちょうどよい場所にちょうどよいタイミングでいて、24時間のフライトでマニラと台湾に行くのがわずか数日後に迫っていて、…もしこの発作が数日後に起こっていたら、どうなっていたかおわかりでしょう。

必要な時に私の医療記録がちょうど手元にあり、スタッフが一緒にいてすぐに救急に連絡し、救急車も早く到着し、救急救命室の看護師と医師がすぐに私の医療記録を見て分析することができました。私の受診履歴を確認して、主任外科医が、今必要なことは何かを即座に判断し、それを行う決定をしました。

2週間以内に、心臓リハビリテーションのプログラムを開始します。前回の投稿で共有したように、私がこの1年で取り組んだことで、再び奇跡が現実のものとなって現れました。神の手が、いつ、どのように、さまざまな形で動き、触れ、導かれるのかは、わからないのです。そして聖霊が道を切り開いてくださいました。

では、この奇跡はどのようにして起こったのでしょうか？ あなたにはお分かりでしょう。皆さんの多くもこの奇跡に関与しています。あなたは何年もの間、私のために、神の守

りと、恵み、健康、そしてこの非常に長く曲がりくねった道を私と共に歩くことを祈ってくださいました。このような時期だからこそ、あなた方全員が、あなただけが知り、理解できる方法とタイミングで、私の家族、そしてこの働きの一員となってくださいました。

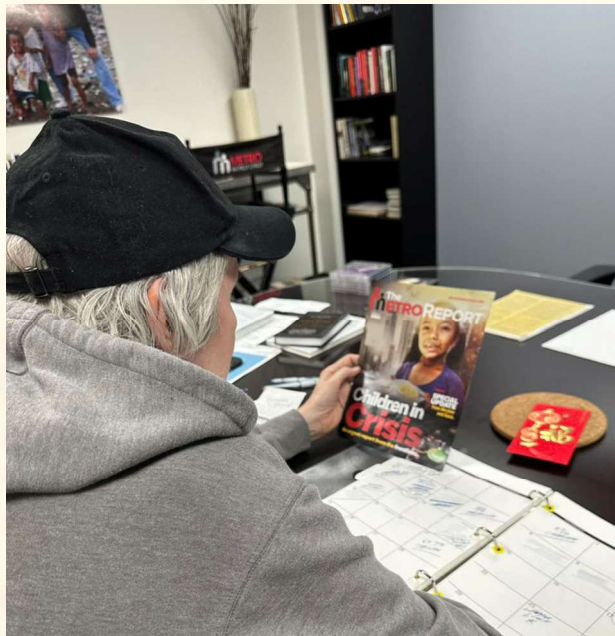
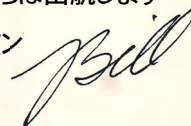
もう一度申し上げたいのですが、本当にありがとうございました。

ここ数日間、たくさんのメールや、電話、お見舞いの言葉を送ってくださりありがとうございました。すべてに返信することができないので、ここでお礼を申し上げたいと思います。

新しい年度を迎えましたが、最高の年はまだこれからです。それは常套句ではなく、真実です。だから、今年はあなた自身の歩みの中で起こる奇跡に備えてください。そして、私たちはイエスの御名において、あなたの奇跡と共に喜ぶことができます。

いつも言っているように、この日、私たちは出航します…

ビル・ウィルソン



イエスを知らないことの危機

一番の必要をどうやって満たすのか。

今、世界中の子どもたちが直面している最も差し迫った危機は、彼らが神様のことを知らずに成長するということです。それで、子どもたちには希望がないのです。

彼らは、自分が愛されている存在であるということを知らないのです。

しかし、あなたのおかげで、メロは世界各地で希望のメッセージを、彼らが住んでいる地域に出かけて行って届けることができます。

私たちメロでは、彼らとの親密な関係を築いていますが、これは多くの場合、不



ビル師よりスポンサーの皆様へ

スポンサーの皆様へ

55年以上の宣教の働きを通して経験してきたすべてのことを考慮しても、ここ1年ほどで目にしてきたことは、私に深い影響を与えました。その一部はまだ処理しきれていません。

道端に死体が横たわっている状況のウクライナに行ってほしいという依頼に応じて出かけました。そこでは、幼い少女たちが侵略してきたロシア兵士に強姦され、今でも苦しんでいますし、子どもたちの集団が誘拐されてひどい拷問を受けていました…

10月には、ガザの日曜学校のリーダーが殺されたという衝撃的な悲しい連絡を受けました。そして、そこに出かけて行き、爆破された建物の瓦礫の中に取り残され、ショックを受けてうずくまる少女を見つけました。彼女は私たちに自分の名前さえ言うことができませんでした。それで、私は彼女にメアリーという名前を付けることにしました。彼女は重病で、私たちの人間的な努力では彼女を救うことができませんでした。彼女はイエスに愛されていることを知りながらこの世を去りました。

このことは、友であるあなたの心にも重くのしかかり、苦しみを共に味わっておられることでしょうか。それでも私がこの働きを続けるのは、世界中で子どもたちが危機に瀕しているという現実があるからです。

しかし、私は昨年、別の事実も見ました。何十年にもわたって何十万もの子どもたちの人生に「足跡」を残してくださった、あなたのような支援者の皆様の一部に直接お会いし、個人的に感謝する機会も得ました。

そして、皆さんのような友人たちの誠実な祈りとサポートのおかげで、メトロは創立44年目になりますが、今もなお世界中で変化をもたらし続けています。皆さんは、現在毎週約50万人の子どもたちに福音を伝えている私たちのために、緊急の必要に応じて働きを支えてくださっています。

お送りするメトロレポートの内容をお読みになる際は、皆様なしでは私たちがこれを成し遂げることは絶対に不可能だということを忘れないでください。あなたは私たちが行うあらゆる働きを共に担ってくださっているのです。メトロ・ワールド・チャイルドが、危機に瀕している子どもたちの必要を満たすため、今、あなたの思いやりを必要としています。私たちにできる最大限のことを実現できるように、どうかご支援ください。



何年経とうと、私はあなたの宣教師です。私は依頼に応じて最前線に赴き、そこでの必要を確認し、その子どもたちをどのように支援できるかをお知らせします。心から感謝します…あなたが私にとって、スタッフやボランティアの皆様にとって、そして特に現在世界中の50万人の子どもたちにとって、どれほど大切な存在であるか、十分にお伝えすることはできません。心からの感謝を込めてお礼申し上げます。

メトロ・ワールド・チャイルド創業者・主任牧師
ビル・ウィルソン

安定で何の保証もなく、明日どうなっているかもわからない彼らの生活の中で、唯一の安定した変わらない関係と言えます。

私たちは支援の必要性を十分認識しており、各地からの支援の依頼に、できる限り応えています。私たちは、子どもたちに福音の真理を伝え、彼らの目に希望の光が輝き始めるのを目の当たりにしています。

世界中の危機的状況に置かれている子どもたちを助けるために、メトロ・ワールド・チャイルドと共に立ち上がってくださっていることに感謝申し上げます。



日本事務所からの重要なお知らせとお願い

！ 現地ツアーを開催します！

皆様からのご要望にお応えして、今年もフィリピンツアーを開催することにいたしました。土日を使ったツアーですので、ご希望の方は今からお休みの調整をお願いいたします。第一次募集締め切りは過ぎましたが、二次募集には間に合うと思います。万代師が同行いたしますので、ぜひ参加をご検討ください。

詳細は、レポートの中にお書きしましたが、参加ご希望の場合は、サポートしていただいている子どもさんとの面会の手配がありますので、早めにお申し込みをお願いいたします。

フィリピン行きの航空券の予約後のキャンセルはキャンセル料がかかりますので、ご了承ください。予約前に確認のご連絡を申し上げます。

2024年のキャンペーン！

先月もお知らせしましたが、年間を通して様々な企画を行いますので、ご参考にしてください。

- 3月：フィリピン就学支援(4月25日締切)
 - 4月：フィリピンツアー開催
アメリカキャンプ支援(5月下旬締切)
 - 5月：フィリピンキャンプ支援(5月末締切)
 - 6月：アメリカ学用品支援(7月初旬締切)
 - 7月：ケニアキャンプ支援(8月下旬締切)
 - 8月：ケニアクリスマス支援(9月初旬締切)
 - 9月：アメリカ感謝祭(10月初旬締切)
 - 10月：ケニア就学支援(11月下旬締切)
フィリピン&アメリカ・クリスマス(11月締切)
 - 11月：OHH(参加者全員へのクリスマスプレゼント)
- * 誕生日は、レポートに個別にご案内を入れますので、必ず開封してご確認ください。



！ 違いを生み出す月曜日！

メトロの働きは各国で急激に拡大し、サポートの必要な子どもの数は、飛躍的に増えています。新規スポンサーを常時募集していますので、よろしくお願いたします。コロナや戦争で、貧困地域の状況は悪化し続けており、ケニアでは、以前から食事をまともに食べることができない子どもがたくさんいましたが、今はさらに深刻な状況です。現地を訪問した若いスタッフは、その悲惨さを目撃して、「違いを生み出す月曜日」のキャンペーンを立案。一人でも多くの子どもにスポンサーを見つけようと努力しています。どうぞ、身近な方々にメトロをご紹介ください。

メトロ紹介&申込サイト⇒

<https://metroworldchild.jp/metrogenerallp/>



日本事務所よりごあいさつ！

松山では、先日、珍しくなごり雪が降りました。皆さんの地域ではいかがでしょうか？ 新年度を迎える時期で、卒業や進学、転勤など、様々な変化の多い時期です。いつでもどこにいても主はその行く道を守り、導いてまいります。

皆様のお祈りに支えられて、ビル師は、回復に向かっていきます。この2年ほどは、内外で激動の日々を過ごしてましたので、年齢的なことを考えても、あらゆる危険から守られ、負傷から立ち上がり、よくここまで乗り越えてこられたものだと感謝しています。

世の終わりを感じさせられるニュースの多い日々ですが、その中でメトロの働きが飛躍的に拡大していることには大きな意味を感じ、主の日が近いことを実感します。

イースターに向けて皆様のご健康が守られ幸せな日々でありますようにとお祈り申し上げます。

日本事務所代表 万代栄嗣(まんたい えいじ)



メトロ・ワールド・チャイルド日本事務所

所在地 〒104-0061

東京都中央区銀座5-14-6

橋ビルII 7階 TFC内

電話 03-6264-7370 (松山事務所 089-992-9020)

FAX 089-925-1501

メール metrojapan@mission.or.jp

URL <https://metroworldchild.jp/>



すべてのお振り込みは、下記宛をお願いいたします。

ゆうちょ銀行：一六九店 当座預金 0041610

郵便局：記号番号 01650-3-41610

口座名義はどちらも同じ

メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン